

## プレスリリース 2023年2月

### 個性の強さを表わす「時」



ユンハンスの新しいMeister Chronoscopeは、  
様々な特徴の融合によって納得させてくれるタイムピースです。

時間を示す時計があります。個性を示す時計があります。ユンハンスの新しいMeister Chronoscopeは、その両方を兼備した時計です。人間が様々な特性から一個のアイデンティティを形成するのとまったく同じように、この時計も個々の特性を結び合わせて一つのまぎれもないアイデンティティを生み出します。時計のデザインは、「Meister」シリーズの持つ古典的なエレガントさをスポーツ用クロノグラフのダイナミックさ、フォルムとカラーの力強い表現に結合させたものになっています。

流線形の時計ケースは繊細なラインで縁取られ、サンレイ仕上げのダイアルデザインに関心が向けられています。ぴんと張りつめた立体感によって、入射する光に応じて、高貴なグレーから冷たいブルーまでニュアンスを変え、時計のクリーンなモダンティーを形作っています。クロノグラフの美は、ボウル形で埋め込まれた積算計に表現されています。くすんだオレンジ色のカウンターの針が、Meister Chronoscopeのスポーティさを強調し、ストラップのマホガニーブラウンと組み合わせられて、カラーが織りなす素晴らしい調和を生み出しています。特別に柔らかくて軽いオストリッチレザー(ダチョウ革)で作られていて、どのストラップにも独特の肌理があります。



力強い表現のデザイン。パフォーマンスの強さを示す仕様。

個性は外面的な価値によってだけでなく、内面的な価値によっても示されます。人間工学的デザインのドーム型ケースバックを通して見える機械式ムーブメントは、ストップウォッチ機能に加えて、日付・曜日表示機能も備えています。高耐傷性のサファイアクリスタル、5気圧防水のMeisterChronoscopeは、信頼できるパートナーとして着用者を支えます。



機能的なデザイン、調和のとれたカラーデザイン、スポーティさと美の結びつきが持つ説得力。Meister Chronoscopeのアイデンティティは、こうした様々な特徴の総和から生まれています。そして、この時計を着ければ袖口から個性が表現されるのです。

## Meister Chronoscope 仕様



27/4224.03

- ムーブメント：** 自動巻クロノグラフムーブメントJ880.1、最大48時間パワーリザーブ機能（クロノスコープ機能）、日付・曜日表示（英語表示バージョンもご用意しております）、スモールセコンド
- クロノスコープ：** ストップセコンド、30分および12時間積算計
- ムーブメント仕上：** ロジウムプレート仕上げ、ストライプ仕上げのローターとロゴの刻印、ダイヤモンドカットバレル、輪列、バランスブリッジ、ブルースクリュー
- ケース：** ステンレススチール、直径 40.7 mm、厚さ 13.9 mm、5本の留ネジ付きミネラルクリスタルバック（シースルー）
- ガラス：** 両面反射防止コーティングドーム型サファイアクリスタル
- ダイヤル：** サンレイ仕上げのサファイアグレー
- 針：** 環境にやさしいルミナス加工の時針と分針
- ストラップ：** マホガニーブラウンのオストリッチレザー（ダチヨウ革）、ステンレススチール製バックル
- 防水性：** 5気圧

詳細について、下記にお問い合わせください:

Junghans · プレス · オフィス

c/o Convensis グループ

Marc Steinsberger

Saskia Hildebrandt

Friedrichstraße 23b

D-70174 Stuttgart

Tel. +49 711 / 36 53 37 77

[PRjunghans@convensis.com](mailto:PRjunghans@convensis.com)

#### ユンハンスについて

160年以上にわたり、ユンハンスは「時」にかたちを与えてきました。細部への徹底したこだわり、ハイレベルのデザインを追求する姿勢、すぐれた品質、そして何世代にもわたって蓄積されてきたテクノロジーのノウハウが1861年の創業以来、ユンハンスの時計を特徴づけています。ドイツ南西部シュヴァルツヴァルトのシュランベルクに本社を構えるユンハンスのサクセスストーリーはまさにそうした価値観を基礎にしているのです。すでに1903年に、ユンハンスは3000人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーで、日に9,000本以上の時計を生産していました。精密なムーブメントの開発によって、1956年には世界第3位のクロノメーターメーカーとなりました。1960年代から1980年代にかけては、クロノメーターを使って数多くの国際大会にたずさわりながら、数多くの技術開発により、スポーツにおける時間計測の分野での基準を打ち立てました。そして波瀾に満ちた激動の歴史を経て、2009年にはシュランベルクの実業家ハンス＝ヨッヘム・シュタイム、ハネス・シュタイムが経営を引き受け、新たな成長の時代を迎えています。2022年、ハネス・シュタイムは取締役として企業運営を開始し、現在ではマティアス・シュトッツ社長と共同でユンハンスの指揮をとっています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品の考案、デザイン、設計、製造を、歴史ある本社内で行っています。2018年には本社にあるテラス式建物が100周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツヴァルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。最新コレクションにも、ユンハンスのデザインおよび時計製造の長い伝統が活かされ、現代にふさわしい形で取り入れられていることがわかります。1930年代以来、このコレクションの中心をなしてきた Meister シリーズ、あるいは1956年からスイスのデザイナー、マックス・ビルとのコラボレーションによって生まれた max bill シリーズのタイムピースはその好例です。1990年、ユンハンスは最初の電波式腕時計を発明し、高精度を目指した時計製造のマイルストーンを達成しました。今日、メイド・イン・シュランベルクのテクノロジーは、新世代のアプリ連動型電波式ソーラームーブメントによって、快適な時、精度、エネルギー効率性に関して最高のレベルを実現しています。ユンハンスの時計のクリアなデザイン言語は、社の歴史に一貫して息づいています。最も新しいところでは、無駄を省いたシンプルな表現のFORMコレクションがその例で、ドイツのインダストリアルデザインがあらわれています。160年以上にわたり、ユンハンスのタイムピースは、時計製造の伝統に、革新的なデザインや最新のテクノロジーを結び付けてきました。というも個性は腕元から始まるからです。